

表8. 第1次デルファイ調査結果: 認知的技術

「賛成」2点、「どちらともいえない」1点、「賛成しない(反対)」0点

評価観点と評価基準案		賛成 (人)	どちらともい えない (人)	反対 (人)	合計 (0-28点)	同意率 (%)	調査票の自由記載と補足インタビューに基づく意見	解釈	
1. Analyzing 分析する  Separating or breaking a whole into parts to discover the nature, function, and relationships 本質、機能、相互作用を明らかに するために、全体を部分に分ける こと	1-1	Be able to classify information that has been observed and/or heard in order to understand phenomenon 現象を理解するために見聞きしたことを情報として分類できる	14	0	0	28	100	① 適切である。 ② 現在の状況に適する。 ③ Diplomaだと2年生から、学士だと実習が開始となる2年生の後期から使える。実習で患者のアセスメントを行うようになるときに使える（補足インタビュー）。	①【同意】 ②【同意】 ③【評価時期の提案】
	1-2	Be able to present patient's nonverbal messages such as facial expressions as information for analysis 表情など非言語的メッセージも分析の対象として提示できる	14	0	0	28	100	④ 入院患者に対する学生の行動である。	④【支持】
	1-3	Be able to classify information into subjective data and objective data for analysis 分析の対象として主観的データと客観的データに整理できる	14	0	0	28	100	⑤ 学生は看護過程作成時に利用して理解する。	⑤【支持】
	1-4	Be able to classify information into objective data, opinion (including requests and complaints), reasons and conjecture 情報を客観的データ、意見（要望や訴えも含む）、理由や根拠、推測に識別できる	14	0	0	28	100		
	1-5	Be able to classify information based on a nursing model (e.g., Gordon's 11 patterns) 看護モデル（ゴードンの11パターンなど）に基づき情報を分類できる	14	0	0	28	100	⑥ 学生は、患者のアセスメントにゴードンの11パターンを使う。	⑥【支持】
2. Applying standard 基準の適応  Judging according to established personal, professional, or social rules or criteria 個人的な、専門的な、または社会 のルールや基準に照らして判断す ること	2-1	Know the appropriate standards (normal levels, basic human needs, anatomic physiology, disease processes, normal development and culture) 適切な基準(正常値、人間の基本的ニーズ、解剖生理学、疾病過程、正常発達、文化)を知っている	12	2	0	26	92.9	⑦ 1~2年生は学修していない。3~4年生はできる。 ⑧ 学生は、正常値、人間の基本的ニーズ、解剖生理学、疾病過程、正常発達、文化を学んで理解している。 ⑨ Diplomaだと2年生から、学士だと実習が開始となる2年生の後期から使える。実習で患者のアセスメントを行うようになるとき（補足インタビュー）。	⑦【評価時期の提案】 ⑧【支持】 ⑨【評価時期の提案】
	2-2	Be able to select the appropriate standard 適切な基準を選択できる	12	2	0	26	92.9	⑩ 「目的に応じて」適切な基準を選択するとしてはどうか（補足インタビュー）。 ⑪ 適切な参考文献を選べることも重要である（補足インタビュー）。	⑩【加筆修正案の提示】 ⑪【加筆修正案の提示】
	2-3	Be able to recognize deviations from the standard based on nursing knowledge 看護の知識に基づき基準からの逸脱を認識できる	13	1	0	27	96.4	⑫ 4年生であればできる。	⑫【評価時期の提案】
3. Discriminating 識別する  Recognizing differences and similarities among things or situations and distinguishing carefully as to category or rank 事柄や状況間の差異や類似点を認 識し、カテゴリや順序づけをし て、注意深く識別すること	3-1	Be able to explain differences and similarities from similar cases based on nursing knowledge and experience 既知（学修、経験）の類似の状況との相違点を示すことができる	13	1	0	27	96.4	⑬ 1~2年生は学修していない。3~4年生はできる。 ⑭ 「相違を説明できる」。例えば、カルテに書いてある患者の状態と実際 の状態。 ⑮ ケースカンファレンスやケーススタディのときに使える（補足インタビュー）。	⑬【評価時期の提案】 ⑭【加筆修正案の提示】 ⑮【評価時期の提案】
	3-2	Be able to organize and categorize situations and matters in relation to the interpretation of information 情報の解釈と関連づけて状況や事柄を整理、区分（カテゴリ化）できる	13	1	0	27	96.4		

	3-3	Be able to discriminate between information related to and not related to problem 問題に関係ある情報と関係ない情報を識別できる	13	1	0	27	96.4	⑮ 何の問題かわからない。自分は看護診断に関連する情報と関連しない情報を決めて、不足する情報を患者さんに聞き取ると理解している（補足インタビュー）。	⑮【加筆修正案の提示】
4. Information seeking 情報の探索	4-1	Be able to conduct focused observation and information gathering based on nursing knowledge 看護の知識基盤に基づき焦点を絞った観察や情報収集ができる	14	0	0	28	100	⑰ 現在の状況としては、学生には、まず情報の取り方を教えて学生が十分な情報を集められない時には、臨床教員が学生にフィードバックを行う（補足インタビュー）。	⑰【現状の提示】
Searching for evidence, facts or knowledge by identifying relevant sources and gathering objective, subjective, historical, and current data from those sources 妥当な資料によって証拠、事実、知識を探究すること、また、客観的、主観的、歴史的な最新のデータを資料から収集すること	4-2	Be able to always confirm whether information is reliable (i.e. whether the information source is reliable, matches between different circumstances, is data collected according to established procedures, is the measurement correct, etc.) 信頼できる情報であるかどうかを常に確認している（情報源が信頼できるか、異なる状況間で一致しているか、確立した手続きに従って集めたデータか、測定は正しいのか）	14	0	0	28	100	⑱ 関連する学生の行動は、「正しく患者の状態を得て学んだ理論にそって行動を起こす」である。	⑱【支持】
	4-3	Be able to collect important subjective data from interactions with patients and their families 重要な主観的データは患者や患者の家族とかかわることから収集できる	14	0	0	28	100	⑲ 学生は患者の家族から話を聴くこともある（補足インタビュー）。 ⑳ 学年によってポイントが違う。1年生には必要な情報を集めるための患者さんへの聴き方を教えないといけない。（補足インタビュー）。	⑲【支持】 ⑳【現状の提示】
	4-4	Be able to carefully examine objective data based on nursing knowledge 看護の知識基盤に基づき客観的データを精査できる	14	0	0	28	100		
	4-5	Be able to confirm whether there are missing data or not 見落とししているデータの有無を確認できる	14	0	0	28	100	㉑「見落とししているデータの有無を確認できる」のデータは何のデータかわからない。自分では患者のデータだと思うが、人それぞれ理解が違うと思うので、何のデータか明確に書いた方がよい（補足インタビュー）。	㉑【加筆修正案の提示】
5. Logical reasoning 論理的推論	5-1	Be able to organize one's own thoughts by linking analysis results logically and systematically 分析結果を論理的、系統的に関連づけて自分の考えを整理できる	13	1	0	27	96.4	㉒ 研究について学んだ学生はできるが、学んでいない学生はできない。	㉒【現状の提示】
Drawing inferences or conclusions that are supported in or justified by evidence 証拠によって指示された、あるいは正当だとされた推論や結論を導き出すこと	5-2	Be able to inductively identify nursing problems from objective and subjective data 客観的データや主観的データから、看護上の課題を帰納的に見つけ出す	14	0	0	28	100	㉓ 関連する学生の行動として、「ゴードンの11パターンから情報をまとめ	㉓【支持】
	5-3	Be able to distinguish from "facts" and "opinions" which is the result of reasoning and interpretation 「事実」と推論や解釈の結果である「意見」を区別して考えることができる	14	0	0	28	100		
	5-4	Based on nursing knowledge, be able to draw consistent inferences and conclusions (including prioritization) from obtained data 得られたデータから看護の知識基盤に基づき矛盾のない推論や結論（優先順位づけ含む）を引き出している	12	2	0	26	92.9	㉔ 3～4年生に適切 ㉕ 関連する学生の行動として問題を見つけて出すことと問題を解決すること。そして、学生は優先順位付けもできる。	㉔【評価時期の提案】 ㉕【支持】
	5-5	Be able to infer from data analysis and nursing knowledge the patient's hidden needs and values and facts 看護の知識基盤やデータの分析から隠れた患者のニーズや価値観、事実を推論できる	11	2	1	24	85.7	㉖ 「推論」に対応するラオス語の修正案。タイ語になっている。	㉖【ラオス語修正案の提示】
	5-6	Be able to find out the patient's situation from key clues (compared to standards, changes in data or symptoms, differences, etc.) 重要な手がかり（標準との比較、データや症状の変化、差異など）から患者の状況を導くことができる	13	1	0	27	96.4	㉗ 実習の時の評価になるので2年生以降の学生が対象になる（補足インタビュー）。	㉗【評価時期の提案】

	5-7	Be able to lead necessary nursing care based on assessment アセスメントから必要な看護ケアを導ける	12	1	1	25	89.3	㉔ ラオス語が文法的に正しくない。どこに導くのか？ ㉔ 修正案「アセスメントのアウトプットとして必要な看護ケアを決めることができる」	㉔【ラオス語修正の必要性】 ㉔【加筆修正案の提示】
6. Predicting 予測する  Envisioning a plan and its consequences 計画やその結果を予測すること	6-1	Be able to predict from nursing knowledge and the patient's situation what information is necessary to collect 看護の知識や患者の状況から収集すべき必要な情報を予測できる	13	1	0	27	96.4	㉔ 「予測」に対応するラオス語の修正案。占いなどに使う「予測」ではなく データに基づく「予測」に修正。 ㉔ 今のラオス語だと、占いで使うような何の根拠もない言葉になっているので変えた方がよい。医師の診断と看護診断は違う。呼吸困難の患者がきて、医師は肺炎と診断するが、看護師は、患者がより良く酸素を吸えるようにどうしたらよいか看護を行う。いろいろ考えるので、根拠のあるラオス語に修正してほしい（補足インタビュー）。 ㉔ 「予測する」は1～2年生には難しいが、3～4年生には使える（補足インタビュー）。	㉔【ラオス語修正案の提示】 ㉔【看護の理解】 ㉔【評価時期の提案】
	6-2	Be able to roughly predict patient problems from nursing reports and records / 看護師の報告や記録から患者の大きな問題を予測できる	13	1	0	27	96.4		
	6-3	Be able to predict the consequences of implementing a plan to solve a patient's health problems 患者の健康問題の解決に必要な計画を実施した場合の結果を予測できる	13	1	0	27	96.4		
7. Transforming knowledge 知識を変換する  Changing or converting the condition nature, form, or function of concepts among contexts 文脈の中で概念の条件、本質、形態や機能などを変える、あるいは他へ転換させること	7-1	Be able to integrate a obtained information and explain a patient's condition 得られた情報を統合して患者の状態を説明できる	12	2	0	26	92.9	㉔ 「得られた情報を統合して患者の状態を説明できる」は2つのことを示しているのので、「得られた情報を統合できる」と「統合した情報から患者の状態を説明できる」の2つに分けた方がよい。 ㉔ 「知識を変換する」ことは、1～2年生には難しいが、3～4年生には使える（補足インタビュー）。	㉔【加筆修正案の提示】 ㉔【評価時期の提案】
	7-2	Be able to describe a patient's case using nursing theory and concepts (case study) 看護理論や概念を用いてケースを記述できる（ケーススタディ）	12	2	0	26	92.9	㉔ 4年生に適切な評価基準である。	㉔【評価時期の提案】
	7-3	Be able to convert nursing theory, concepts, and nursing skills that the student has already learned into performing nursing diagnosis, planning, and care and self- reflection during practicum 学修した看護理論、概念、看護技術を実習で看護診断、看護計画立案、看護ケアの提供、省察として実践できる	10	3	1	23	82.1	㉔ 「convert」に対応するラオス語の修正案。（「修正する」ではなく「適応させる」への修正） ㉔ ナイティゲールやロイの看護理論など、理論は変えられないので反対する。	㉔【ラオス語修正案の提示】 ㉔【不支持】
7項目	29項目					26.9	96.2		

